

実践能力育成のための「到達目標と評価」の現状と課題は？

領域	現状	課題
小児看護学	評価表はない、学生の感想文で評価しているのみ	到達目標はあるけれど具体的に評価まで辿り着いていない
基礎看護学	教員がシミュレーション教育について学んでいない方が多く、いまだにデモンストレーション型が一番だと考えているため、シミュレーション教育を行おうとする場合、一人で実施となり、かなり負担がかかるため実施できていない。	新しいことに前向きでなくいままでの自分の教授が一番良いと考えている教員にシミュレーション教育を理解してもらうことが必要であることが課題。
老年領域	実践数の圧倒的な不足	実践できる数を増やすこと
成人	到達目標に到達していない状況である	到達目標を盛り込みすぎて、高すぎる
成人看護学	各領域の個性が発揮され、段階的な教育が出来ていない	領域の壁がある
成人看護学領域	目標が漠然として、SMARTを活用できておらず評価しにくい。	学生がわかる現実的な目標設定を考える必要がある。